

流通ビジネス

# レアアース事業展開加速

## 10初年度 電池材料など育成 億円超に

### マテリアル・トレーディング

マテリアル・トレーディング・カンパニー(東京都港区、小滝秀明社長、電話03-3457-9747)は、ランタン、セリウムなどのレアアース事業を一段と深掘りし、ユーザー評価の定着を図る。同社は昨年8月の設立ながら、電池材料や光学レンズなど4分野で着実な成長をみせ、初年度10億円超(7月期)の売り上げ見込みとなっている。すでに、中国の供給ソースを確保、光学レンズや触媒関係で市場を獲得した。今後はレアメタルでの横展開、さらにリサイクル事業へと拡大させ、早期に数十億円規模への拡大をめざす。

マテリアル・トレーディング・カンパニー(東京都港区、小滝秀明社長、電話03-3457-9747)は、ランタン、セリウムなどのレアアース事業を一段と深掘りし、ユーザー評価の定着を図る。同社は昨年8月の設立ながら、電池材料や光学レンズなど4分野で着実な成長をみせ、初年度10億円超(7月期)の売り上げ見込みとなっている。すでに、中国の供給ソースを確保、光学レンズや触媒関係で市場を獲得した。今後はレアメタルでの横展開、さらにリサイクル事業へと拡大させ、早期に数十億円規模への拡大をめざす。

し、新会社の立ち上げ以降、石炭、鉄鉱石輸入のほか、レアメタルやレアアース事業で実績を積みしてきた。とくに、レアアースは昨年中国国内の需要急増や資源保護にともなう輸出量の削減が顕著となり、価格は急騰した。年初以降の値動きでは、ランタンが1.5倍、セリウムが1.5倍、ネオジムが1.5倍に値上がりしたほか、ネオジム

も同140倍から300倍に急騰、2008～09年の20倍水準に比べ実に15倍となった。こうした状況は、中国の好調な工業品の生産や輸出抑制策から今後も続くとの見方が多い。一方、マテリアル・トレーディングでは、レアアースの手当て難のほか、光学ガラスメーカー向けや触媒関係など大手ユーザーを中心にレアアースの販路開拓に成功した。現在、初年度の第3四半期が経過、年間売り上げが10億超との見通しを得ている。

今後は、第2段階としてレアアース事業の深掘り、レアメタル事業での横展開を図る。レアアースの販路開拓に成功した。現在、初年度の第3四半期が経過、年間売り上げが10億超との見通しを得ている。

スのランタン、セリウム、ネオジム、イットリウムなどでは、定着した顧客信頼度をベースに数量増を果たす。レアメタルではランタン、ニオブ、タングステンですべてに供給を始めており、横展開を強化する。用途分野としては、電池材料をはじめ、蛍光体、光学レンズ、磁石材料分野を重点育成する。また、リサイクル事業

についても、ユーザーから引き取り再利用するビジネスモデルを構築していく。これらと合わせ中国以外のソース確保も重要になるとみており、当面は中国を軸にしながら、第2、第3の新ソース開拓も視野に入れる。